

小中学校の規模適正化・適正配置基本方針

【素案】に関する意見を聴く会



山武市教育委員会

次 第

1. 教育委員会委員長あいさつ

2. 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本方針【素案】の内容説明

3. 質問・意見交換

4. おわりに

付属資料

○基本方針【素案】策定までの経緯	1
○適正配置実施までの流れ	2
○教職員の配置等について	3
○山武市立小学校別、児童数・学級数の推移	4
○山武市立中学校別、生徒数・学級数の推移	5
○地域別協議会（開催順：蓮沼・成東・山武・松尾）での意見	6

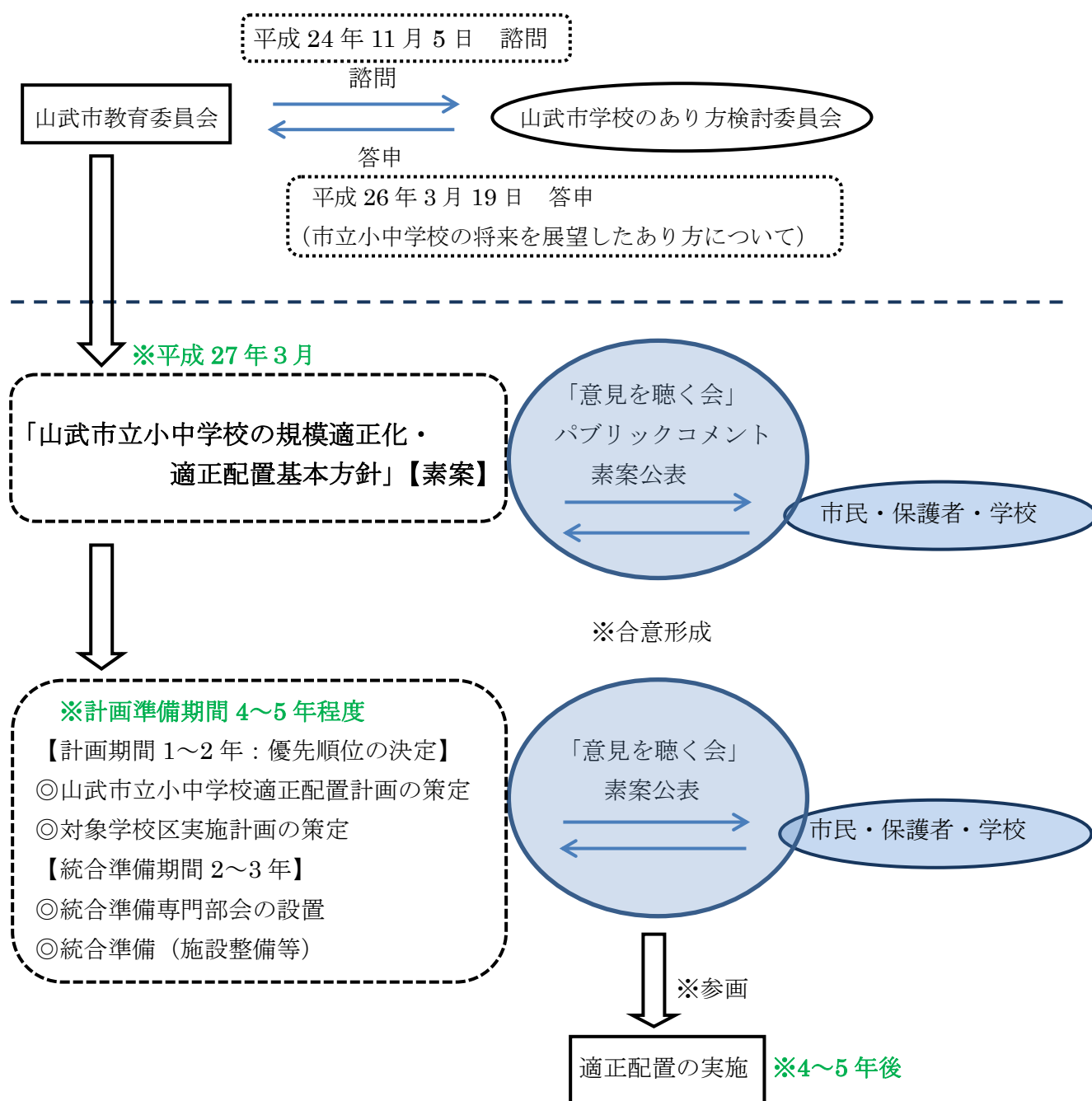
基本方針【素案】策定までの経緯

取り組み開始の背景	○平成 22 年に議会から学校の統廃合について質問が出され、文教厚生常任委員会との教育懇談会で、教育の機会均等を図るため、10 年先を見据えて今年度を協議のスタート年としていきたいと教育委員会の考え方を説明した。その後、策定した教育振興基本計画（平成 23 年 4 月発行）では、教育理念を推進する施策の中の取り組みとして、統廃合や学区（園区）再編の検討協議を加えた。 平成 24 年議会第 1 回定例会（平成 24 年 2 月）において、（仮称）山武市学校再編協議会を立ち上げて、諮問・答申をお願いしたいと教育委員会の考え方を示し、平成 24 年 11 月 5 日に山武市学校のあり方検討委員会が設置され、検討が開始された。
平成 24 年 11 月 5 日 ） 平成 26 年 3 月 19 日	○平成 24 年 11 月 5 日、山武市学校のあり方検討委員会を設置し、教育委員会から「山武市立小学校及び中学校の将来を展望した学校のあり方について」諮問をした。その後、平成 26 年 3 月 19 日の答申まで、計 13 回にわたり会議を開催し、慎重に議論を重ね、当該諮問内容に対する具体的な方策・考え方が取りまとめられた。 ※行政視察：1 回（茨城県小美玉市教育委員会） ※学校視察：1 回（山武西小・豊岡小・松尾中・成東小・蓮沼中） ※市民、保護者等を対象にしたアンケートの実施 （一般市民 1,000 保護者 4,154 教職員等 549 児童生徒 2,372） 【配布数 8,075 回収数 5,486 回収率 67.94%】
平成 26 年 4 月 25 日 ） 平成 27 年 1 月 14 日	○教育委員会では、学校のあり方検討委員会からの答申を踏まえ、計 13 回の協議会を開催し、「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本方針【素案】」を策定した。 策定に至るまで、答申内容の確認・検証、アンケート分析から、複数パターンによる統合シミュレーションの検証など時間をかけて協議し、教育委員会としての考え方を取りまとめた。
平成 26 年 11 月 13 日 ） 平成 27 年 2 月 3 日	○答申を受けた学校のあり方検討委員会に、教育委員会が策定した基本方針【素案】の内容について意見を聴取するため、再度学校のあり方検討委員会を設置し、意見交換を行った。 ※会議数：2 回
平成 27 年 2 月 19 日 ） 平成 27 年 2 月 24 日	○教育委員会が策定した基本方針【素案】の内容について、各地域からの意見を聴取するため、山武市学校のあり方検討委員会設置要綱第 7 条の規定に基づく地域別協議会（成東・山武・蓮沼・松尾）を設置し、意見交換を行った。 ※会議数：各地域 1 回

適正配置実施までの流れ

○適正配置の実施にあたっては、基本方針をはじめ今後に策定する対象校の優先順位・年次計画を定めた「山武市立小中学校適正配置計画」や「対象学校区実施計画」など、策定段階において保護者や地域の皆様に十分に説明し、納得と合意が得られるよう努め、段階的、効果的に進めていきます。

【下記フロー図は、統合の合意が得られた場合、最初に統合する対象校の適正配置実施の流れです。】



(注) 適正配置の実施は、対象校の優先順位・年次計画を定めて行います。

教職員の配置等について

1 教職員定数について

○国配置基準では、小学校 1 年生は 35 人学級、その他の学年は、小・中学校共に 40 人学級であり、学校には、学級数分の教員が配置されます。

☆その他、学級数に応じて※増置教員（学級担任以外になる教員）が配置されます。

【小学校】

学級数	1～12	13～23	24～32	33以上
※増置教員	1	2	3	4
（校長・教頭等を除いた増置教員数） ※1 学級の場合：増置教員は 1 名で計 2 名となります。 ○各学年 1 クラス単学級の場合：学級数 6＋増置教員 1 名で計 7 名 ○統合により 12 学級となった場合：学級数 12＋増置教員 1 名で計 13 名 ○参考 13 学級の場合：学級数 13＋増置 2 名で計 15 名となります。				

【中学校】

学級数	1・2	3・4	5～8	9	10～15	16～17	18	19～21
※増置教員	3	4	5	6	6	7	8	9
生徒指導	0	0	0	0	1	1	1	1
計	3	4	5	6	7	8	9	10
（校長・教頭等を除いた増置教員数） ※1 学級の場合：増置教員は 3 名で計 4 名となります。 ○各学年 1 クラス単学級の場合：学級数 3＋増置教員 4 名で計 7 名 ○統合により 9 学級となった場合：学級数 9＋増置教員 6 名で計 15 名 ○参考 10 学級の場合：学級数 10＋増置教員 6 名＋生徒指導 1 名を加え、17 名となります。								

2 複式学級について

【小学校】

- ◆1 学年を含む 2 学年で 8 人以下の場合実施
- ◆1 学年を除く 2 つの学年で 16 人以下の場合実施

（例）

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
児童数	4	4	8	8	8	9
計	8		16		17	
備 考	複 式		複 式		5年、6年単学級	

【中学校】

- ◆中学校の複式は、引き続く 2 つの学年で 8 人以下の場合実施

（例）

学 年	1年	2年	3年
生徒数	4	4	4
計	8		単学級
備考	複 式		扱い

※ただし、引き続く学年が 1 年と 3 年の場合は、いずれかの学年（1 年か 3 年）が 4 名を超える（5 名以上）である場合は、複式とはなりません。

○山武市立小学校別、児童数・学級数の推移

平成26年5月1日現在

学校名	平成 25 年度								学校名	平成 26 年度								学校名	平成 32 年度								比較	H25→H26	H26→H32
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計			小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計			小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計		児童数	児童数
																												増減率(%)	増減率(%)
成東小学校	児童数	56	58	61	67	59	40	341	成東小学校	児童数	69	54	57	62	66	59	367	成東小学校	児童数	53	64	55	53	57	49	331	成東小学校	26	▲ 36
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	2	2	2	2	2	2	12		7.6	▲ 9.8
大富小学校	児童数	15	18	22	19	17	20	111	大富小学校	児童数	21	15	18	21	19	18	112	大富小学校	児童数	12	11	14	9	13	13	72	大富小学校	1	▲ 40
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		0.9	▲ 35.7
成東中学校区計	児童数	71	76	83	86	76	60	452	成東中学校区計	児童数	90	69	75	83	85	77	479	成東中学校区計	児童数	65	75	69	62	70	62	403	成東中学校区計	27	▲ 76
	学級数	3	3	3	3	3	3	18		学級数	3	3	3	3	3	3	18		学級数	3	3	3	3	3	3	18		6.0	▲ 15.9
南郷小学校	児童数	42	32	30	46	50	57	257	南郷小学校	児童数	42	42	31	31	46	50	242	南郷小学校	児童数	36	22	25	41	29	32	185	南郷小学校	▲ 15	▲ 57
	学級数	2	1	1	2	2	2	10		学級数	2	2	1	1	2	2	10		学級数	2	1	1	2	1	1	8		▲ 5.8	▲ 23.6
緑海小学校	児童数	24	26	30	31	29	42	182	緑海小学校	児童数	37	23	26	30	31	29	176	緑海小学校	児童数	21	24	20	30	22	22	139	緑海小学校	▲ 6	▲ 37
	学級数	1	1	1	1	1	2	7		学級数	2	1	1	1	1	1	7		学級数	1	1	1	1	1	1	6		▲ 3.3	▲ 21.0
鳴浜小学校	児童数	31	23	22	26	25	32	159	鳴浜小学校	児童数	24	31	22	22	26	25	150	鳴浜小学校	児童数	20	16	21	23	30	22	132	鳴浜小学校	▲ 9	▲ 18
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		▲ 5.7	▲ 12.0
成東東中学校区計	児童数	97	81	82	103	104	131	598	成東東中学校区計	児童数	103	96	79	83	103	104	568	成東東中学校区計	児童数	77	62	66	94	81	76	456	成東東中学校区計	▲ 30	▲ 112
	学級数	4	3	3	4	4	5	23		学級数	5	4	3	3	4	4	23		学級数	4	3	3	4	3	3	20		▲ 5.0	▲ 19.7
睦岡小学校	児童数	46	32	39	51	44	50	262	睦岡小学校	児童数	38	47	34	40	50	43	252	睦岡小学校	児童数	20	23	35	31	37	45	191	睦岡小学校	▲ 10	▲ 61
	学級数	2	1	2	2	2	2	11		学級数	2	2	1	2	2	2	11		学級数	1	1	1	1	1	2	7		▲ 3.8	▲ 24.2
山武北小学校	児童数	26	18	30	19	21	33	147	山武北小学校	児童数	27	26	18	29	19	22	141	山武北小学校	児童数	17	16	20	19	19	21	112	山武北小学校	▲ 6	▲ 29
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		▲ 4.1	▲ 20.6
山武中学校区計	児童数	72	50	69	70	65	83	409	山武中学校区計	児童数	65	73	52	69	69	65	393	山武中学校区計	児童数	37	39	55	50	56	66	303	山武中学校区計	▲ 16	▲ 90
	学級数	3	2	3	3	3	3	17		学級数	3	3	2	3	3	3	17		学級数	2	2	2	2	2	3	13		▲ 3.9	▲ 22.9
日向小学校	児童数	29	32	35	42	38	28	204	日向小学校	児童数	21	29	33	33	42	37	195	日向小学校	児童数	26	15	30	26	30	37	164	日向小学校	▲ 9	▲ 31
	学級数	1	1	1	2	1	1	7		学級数	1	1	1	1	2	1	7		学級数	1	1	1	1	1	1	6		▲ 4.4	▲ 15.9
山武西小学校	児童数	12	15	16	21	20	24	108	山武西小学校	児童数	16	12	15	17	21	20	101	山武西小学校	児童数	11	5	8	23	18	18	83	山武西小学校	▲ 7	▲ 18
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	←→		1	1	1	5		▲ 6.5	▲ 17.8
山武南中学校区計	児童数	41	47	51	63	58	52	312	山武南中学校区計	児童数	37	41	48	50	63	57	296	山武南中学校区計	児童数	37	20	38	49	48	55	247	山武南中学校区計	▲ 16	▲ 49
	学級数	2	2	2	3	2	2	13		学級数	2	2	2	2	3	2	13		学級数	2	2	1	2	2	2	11		▲ 5.1	▲ 16.6
蓮沼小学校	児童数	31	30	38	31	33	36	199	蓮沼小学校	児童数	27	31	29	38	29	32	186	蓮沼小学校	児童数	31	18	24	23	27	23	146	蓮沼小学校	▲ 13	▲ 40
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		▲ 6.5	▲ 21.5
蓮沼中学校区計	児童数	31	30	38	31	33	36	199	蓮沼中学校区計	児童数	27	31	29	38	29	32	186	蓮沼中学校区計	児童数	31	18	24	23	27	23	146	蓮沼中学校区計	▲ 13	▲ 40
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		▲ 6.5	▲ 21.5
豊岡小学校	児童数	8	5	8	11	8	12	52	豊岡小学校	児童数	7	8	5	9	11	9	49	豊岡小学校	児童数	6	7	7	6	11	9	46	豊岡小学校	▲ 3	▲ 3
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	1	←→		1	1	1	5		▲ 5.8	▲ 6.1
大平小学校	児童数	18	23	29	25	35	29	159	大平小学校	児童数	37	18	26	30	25	35	171	大平小学校	児童数	19	23	26	24	24	24	140	大平小学校	12	▲ 31
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		学級数	2	1	1	1	1	1	7		学級数	1	1	1	1	1	1	6		7.5	▲ 18.1
松尾小学校	児童数	36	32	45	42	33	32	220	松尾小学校	児童数	40	35	32	44	42	31	224	松尾小学校	児童数	24	27	28	31	30	40	180	松尾小学校	4	▲ 44
	学級数	2	1	2	2	1	1	9		学級数	2	1	1	2	2	1	9		学級数	1	1	1	1	1	1	6		1.8	▲ 19.6
松尾中学校区計	児童数	62	60	82	78	76	73	431	松尾中学校区計	児童数	84	61	63	83	78	75	444	松尾中学校区計	児童数	49	57	61	61	65	73	366	松尾中学校区計	13	▲ 78
	学級数	4	3	4	4	3	3	21		学級数	5	3	3	4	4	3	22		学級数	3	3	2	3	3	3	17		3.0	▲ 17.6
合計	児童数	374	344	405	431	412	435	2,401	合計	児童数	406	371	346	406	427	410	2,366	合計	児童数	296	271	313	339	347	355	1,921	合計	▲ 35	▲ 445
	学級数	17	14	16	18	16	17	98		学級数	19	16	14	16	18	16	99		学級数	15	14	12	15	14	15	85		▲ 1	▲ 19

○山武市立中学校別、生徒数、学級数の推移

平成26年5月1日現在

学校名	平成 25 年度			
	中1	中2	中3	合計
成東中	生徒数	90	68	88
	学級数	3	2	3
成東東中	生徒数	127	116	150
	学級数	4	4	4
山武中	生徒数	83	69	87
	学級数	3	2	3
山武南中	生徒数	88	96	91
	学級数	3	3	3
連沼中	生徒数	27	44	41
	学級数	1	2	2
松尾中	生徒数	78	98	84
	学級数	3	3	3
合計	生徒数	493	491	541
	学級数	17	16	18

学校名	平成 26 年度			
	中1	中2	中3	合計
成東中	生徒数	59	90	68
	学級数	2	3	2
成東東中	生徒数	133	128	118
	学級数	4	4	4
山武中	生徒数	83	81	70
	学級数	3	3	2
山武南中	生徒数	66	89	96
	学級数	2	3	3
連沼中	生徒数	28	25	44
	学級数	1	1	2
松尾中	生徒数	74	80	98
	学級数	3	3	3
合計	生徒数	443	493	494
	学級数	15	17	16

学校名	平成 32 年度				
	中1	中2	中3	合計	
成東中	生徒数	90	69	75	234
	学級数	3	2	2	7
成東東中	生徒数	103	96	79	278
	学級数	3	3	2	8
山武中	生徒数	65	73	52	190
	学級数	2	2	2	6
山武南中	生徒数	37	41	48	126
	学級数	1	2	2	5
連沼中	生徒数	27	31	29	87
	学級数	1	1	1	3
松尾中	生徒数	84	61	63	208
	学級数	3	2	2	7
合計	生徒数	406	371	346	1,123
	学級数	13	12	11	36

比較	H25→H26		H26→H32	
	生徒数	増減率(%)	生徒数	増減率(%)
成東中		▲ 29		▲ 17
		▲ 11.8		7.8
成東東中		▲ 14		▲ 101
		▲ 3.6		▲ 26.6
山武中		▲ 5		▲ 44
		▲ 2.1		▲ 18.8
山武南中		▲ 24		▲ 125
		▲ 8.7		▲ 49.8
連沼中		▲ 15		▲ 10
		▲ 13.4		▲ 10.3
松尾中		▲ 8		▲ 44
		▲ 3.1		▲ 17.5
合計		▲ 95		▲ 307
		▲ 6.2		▲ 21.5

学校名	平成 38 年度			
	中1	中2	中3	合計
成東中	生徒数	65	75	69
	学級数	2	2	2
成東東中	生徒数	77	62	66
	学級数	2	2	2
山武中	生徒数	37	39	55
	学級数	1	1	2
山武南中	生徒数	37	20	38
	学級数	1	1	1
連沼中	生徒数	31	18	24
	学級数	1	1	1
松尾中	生徒数	49	57	61
	学級数	2	2	2
合計	生徒数	296	271	313
	学級数	9	9	10

比較	H26→H38	
	生徒数	増減率(%)
成東中		▲ 8
		▲ 3.7
成東東中		▲ 174
		▲ 45.9
山武中		▲ 103
		▲ 44.0
山武南中		▲ 156
		▲ 62.2
連沼中		▲ 24
		▲ 24.7
松尾中		▲ 85
		▲ 33.7
合計		▲ 550
		▲ 38.5

地域別協議会（蓮沼地域）での意見【2月19日開催】

（質問）

○市では小中一貫校を考えているのか。（他1件）

（回答）

●小中一貫校については、教育委員会で十分協議した。考え方として、同学年で切磋琢磨することが良いという考え方と、市内小中学校の中で教育課程が異ならない方が良いという考え方から、まずは学校の規模を適正化することを第一に考えた。なお、小中一貫校の取り組みを検討するならば、特定の地域の学校ではなく、市全体の取り組みとして検討する方が良いという考え方である。

（質問）

○部活動が理由でなくても、他の中学校区からでも柔軟に通える制度があれば良いのではないか。

（回答）

●現在も部活動ではなくても、区域外就学は可能である。ただし、理由が必要である。

（質問）

○「合意を得る」とあるが、その尺度はどんなものか。

（回答）

●その尺度については難しい。統合に対しては、賛成の方も反対の方もいるので、全員の合意という判断基準で考えていない。様々な意見を集約して、合意の基準については今後検討していく。

【意見】

（方針全般に関する意見）

- ・パンフレットに書いてあるのは一般論であり、蓮沼にはあてはまらない。統合には反対である。
- ・小中一貫校は子ども・保護者が望んでいるのかが疑問である。理想と現実は違う部分があると考ええる。
- ・統合したら蓮沼地域の人口が確実に減り、子育てしようにも学校がないため出来ない。魅力も無くなり、蓮沼も無くなりかねない。蓮沼小の校風から自然に覚えたものを壊さないでほしい。

（適正規模に関する意見）

- ・蓮沼に来る前は子どもが殺伐としていたが、蓮沼に来てからは家に帰ってから会話をするようになった。自分の子にとって良いと考える。クラス替えすることに意味があるのかが疑問である。
- ・文科省の手引きの考え方で、「小規模校のメリットを最大限に生かす方策」とある。スケールメリットを生かそうとすると、今ある大事な蓮沼のメリットがなくなってしまう。
- ・蓮沼は良いところである。現実問題として平成27年度新入生は20名で各学年1クラスである。理想としては2クラスである。また、今年の卒業生も32名中5名が他の中学へ行く予定である。

(適正配置に関する意見)

- ・東日本大震災の津波を考えると、それに対する防災対策も必要である。子どもが心配なので、津波が来ない安全な場所に預けられればと考える。

(その他の意見)

- ・小さい学校同士を統合するという話ではなく、子どもを増やすという目線はないのか。蓮沼の人は一度出てからまた蓮沼に戻ってくる人が多いので、そういうメリットを考えてもう少し時間をかけて見守ってほしい。

- ・教育レベルを上げるには規模よりも先生と子どもの関係が重要である。保育園・小中学校が連携し、教育レベルを上げる方法もある。ここで育った子どもがいずれまちに戻り地域を支えていく、そういった教育を使ったまちおこしが出来ればと考えている。

- ・子どもたちの意見も聞いてほしい。

- ・子どもが学校を卒業すると接点なくなるが、地域の学校だから支えたいという人が多い。また、役員が不足する行事も役員ではない人が積極的に手伝ってくれている。

- ・現在、部活動については、ほとんどの生徒が加入している。なかには自分のやりたい部活動はないが、他の部活動に加入し、高校に行ってからやろうとする生徒もいる。

- ・中学校の方が小学校より人数について危機感を覚えているが、ボランティア部などは他にはない特徴的なものである。

地域別協議会（成東地域）での意見【2月20日開催】

（質問）

○成東駅の裏に小中一貫の学校ができるという噂があるが本当か。

（回答）

●噂についての事実はない。

（質問）

○市は小中一貫校という視点はないのか。また特色ある山武市教育について検討協議に加えなくてよいのか。

（回答）

●小中一貫校については、教育委員会で十分協議した。考え方として、同学年で切磋琢磨することが良いという考え方と、市内小中学校の中で教育課程が異ならない方が良いという考え方から、まずは学校の規模を適正化することを第一に考えた。なお、小中一貫校の取り組みを検討するならば、特定の地域の学校ではなく、市全体の取り組みとして検討する方が良いという考え方である。

（質問）

○小中一貫校については、議論外ということか。

（回答）

●いただいた意見は、教育委員会内で検討する。

（質問）

○統合について、いつから始めるのか。

（回答）

●いつから始めるという時期は決まっていない。

【意見】

（方針全般に関する意見）

- ・市外の学校を見てみると推計とは異なった児童生徒数の伸びを示している学校もあるので、統廃合は慎重に進めた方が良い。
- ・中学校の時期にいろいろな人と触れるのが良いと考えるので、成東中と成東東中の統合も良いと考える。
- ・就学区域の変更、弾力化も必要である。

（適正規模に関する意見）

- ・複式学級は避けたい。
- ・義務教育諸学校は集団生活を育む場と考える。自立性や集団性を育てるには適正規模が必要である。

(適正配置に関する意見)

- ・成東中と成東東中が統合する場合の学校位置が問題である。

(通学環境に関する意見)

- ・統合しスクールバスを使用するとなると部活動などで時間的な不公平感が出てしまうのではないかと考える。
- ・特に通学の安全面に配慮が必要である。
- ・親としては自宅から学校が遠くなるのは心配である。
- ・最近痛ましい事件事故が多いのでスクールバスを利用することによって回避できる部分は期待できる。
- ・児童数が少ない地区では親の送迎になると思う。スクールバスも良いがいろいろな部分で配慮願いたい。
- ・通学距離の基準にある小学校4 kmは低学年には厳しいと考える。統合することにより通学距離が延びることも考えられるので通学への配慮が必要である。

(その他の意見)

- ・統合という話になると悲しさがある。
- ・成東中の校舎は築 52 年であり安全面を考慮し早めの建て替えをお願いしたい。
- ・統合すると部活動面では良いとか感じる。成東中と成東東中で気質の違いを感じる人もいる。
- ・「すべては子どものため」を考えなければならない。
- ・人数が少ないという実感がない。みんなで話し合いが必要である。
- ・南郷小、鳴浜小、緑海小の体育館が新しいのもったいない。
- ・統合したとしても子ども同士はすぐに仲良くなれると思う。
- ・自分の子が小規模校に通っていた。少人数だったのでいろいろなチャンスを与えてもらった。しかし、中学校に入学した際、出身小学校の友達でまとまってしまうとの話があった。

地域別協議会（山武地域）での意見【2月23日開催】

（質問）

○統合にあたり、どこかの校舎を使うのか。

（回答）

●今の段階では、統合後の校舎はどこを使うのか決まっていない。今後、検討することになる。

（質問）

○新聞で、銚子市の状況が報じられたが、統合までのスパンを教えてください。

（回答）

●詳細については、今わからないが、今後10年間で再編が行われる。

（質問）

○アンケートで一般市民とはどのような人か。また、どのくらいの人が統合を望んでいるか。パンフレットに適正人数と書いてあるが何が根拠となっているのか。

（回答）

●一般市民とは、3歳児から中学3年生のお子さんがある世帯を除いた20歳から79歳までの方を無作為抽出している。統合に関してアンケートを分析すると、「通学区域を見直して統合する」との回答が約3割程度、「統合する」「統合しない」に関わらず通学区域の見直しについて約6割の方が必要性を感じていた。検討した結果、小規模校が多い本市の状況で通学区域を見直すだけでは、適正規模にはならないとの結論に達した。望ましい定員数は、アンケート結果を参考に教育委員会で協議し定めたものである。

【意見】

（方針全般に関する意見）

- ・子どもと教育環境を考えると「孟母三遷」の故事を思う。子どもの教育環境を整えたいと思うのは時代を超えて共通のものである。10年という長いスパンで動くのが良いか分からないがスピード感をもって取り組んでほしい。
- ・北小と睦岡小が統合することに違和感はないが、地域の方の理解を求めるのが大変だと思う。
- ・子どもの成長のためには統合もやむを得ないと考える。現在、PTA役員の確保、選出が難しい。
- ・統合について、デメリットをいかに解消するかが課題になってくると考える。
- ・統合した場合、少人数でいたよりも、きめ細やかな指導ができるような担保が必要。
- ・国の指針を基に進めていくのが良いと考える。北小学区は、郡内から分校が減り、1校となっても分校を守り抜いたという意識が強い地域である。地域の方は北小の存続を強く熱望していた。また、保護者的には少なくとも児童数が100名ぐらいいれば大丈夫と考えている。
- ・学校がなくなるという噂が出ており、子どもも不安になっている。統合についてはっきりとした期間を明示願いたい。

(適正規模に関する意見)

- ・学校の子どもが減少すると学級も減少し、教員数も減少する。学校は1つのコミュニティとなっているため、中学校は1学年3学級欲しいと考える。大きな問題としては、部活動が成り立たない現状がある。学校経営上、生徒は多い方がいい。
- ・児童数が少ないことで、教員の目が行き届き大きな問題になりそうな芽を摘みとることができる。ただ、過去の経験からクラス替えがあった方が良く考える。
- ・教職員にとって、大小の学校に関わらず基本的には仕事は一緒だが、小さい学校の方が、担当が増えるので職員の負担が増える。
- ・児童が少ないと教師が良く見ることができるとは、手をかけすぎの場合もあり、児童自身の本当の力が発揮出来ない場合がある。人数が少ない場合、良い面・悪い面が考えられる。
- ・南中学校の生徒数は開校時（平成10年）の半分である。部活動では、他校との混合チームになったり、また合唱ではパートの人数が不足するなど、厳しい状況である。

(適正配置に関する意見)

- ・統合する学校位置によって、東金市から通学している生徒がどうなるのか心配である。

(通学環境に関する意見)

- ・通学距離（6km）について、山武地域は起伏があるのでその部分も考慮してほしい。
- ・仮に北小をベースに考えた場合、バスの環境も良くなく、睦岡地域の子が安心して通えるという保証が少ないので何処までサポートしてくれるのかが問題である。現状より悪くなるのであれば、統合しなくても良いと考える。
- ・通学が広範囲となるので安全面が心配であることと、道路整備も考えてほしい。
- ・通学路が一番心配であり、安全確保が必要である。

(跡地利用に関する意見)

- ・統合となると既存校舎か新設校舎を使うこととなるが、残された校舎についての活用方法を考えてほしい。

(その他の意見)

- ・保護者の中には、バスさえ来てくれれば幼稚園も1つで良いという方もいる。今の保護者は統合しても問題なく出来るのではないかと考えている。
- ・行政に市民を引き留める策を講じてほしい。
- ・当事者の子ども達にも聞いてほしい。（今の子どもやこれからの子ども）
- ・推計では6年後の減少幅は睦岡小が一番大きく非常に驚いている。現在は3年生のみが単学級で、3年生を見ていると心なしか寂しそうに見える。
- ・地域の行事については、知らないこともあるので特定の人だけではなく、地域住民が全体で共に盛り上がることを望んでいる。

地域別協議会（松尾地域）での意見【2月24日開催】

（質問）

○統合した場合、学校の位置はどこになるのか。

（回答）

●学校の位置については、今の段階では決定していない。みなさんと協議検討して決定する。

（質問）

○教師の配置の仕組みが分からない。

（回答）

●配布資料3ページ参照

（質問）

○統合しても児童数が基準にならなかった場合、また統合はあるのか。

（回答）

●今の段階では、地域性、通学距離を考えると一度に適正規模になるよう統合することは難しいととらえている。今後については、その時の状況を踏まえ考えなければならない。

（質問）

○スケジュールを見ると統合が絶対と見えるがいかがか。

（回答）

●異論がなく進んでいった場合の一例である。これから「意見を聴く会」を開催し、みなさんの意見を伺う。それによっては当然スケジュールは変わってくる。

（質問）

○「意見を聴く会」開催後に統合についてのアンケートを行う予定はあるか。

（回答）

●この検討を始める前に平成25年5月に3歳以上の全保護者と1000人の抽出ではあるが市民対象にアンケート調査を行っている。その結果を基にこの基本方針（素案）を策定した。今後アンケート調査を行うかは考えていないが必要に応じて行うかもしれない。

【意見】

（方針全般に関する意見）

・学校の仕事は社会で生きていけるようにすることが大事な要素の一つである。一概に統合が良い、そのままだ良いというのは難しい。

・何に主眼を置き学校を編成していくかを検討していくことが重要であると考え。

・蓮沼小と大平小の統合は地域性の問題も出てくると考える。

・蓮沼中と松尾中の統合は、生徒数や学校規模を考えた場合は良いと考える。しかし、通学面を考えた時にバスを利用することとなると学校の諸活動に制限が出てくる。人数的には統合した方が良

いと思うがその反面、課題もたくさん出てくると考える。

- ・統合はやむを得ないと考えるが、小中学校区は地域の核である。学区を再編することにより地域の再編が起こるので一筋縄ではいかないと考える。

- ・現状では、学校と地域の関係は良好でうまく機能している。児童数が少ないため、ゆくゆくは統廃合という方向は仕方がないと考えるが、お互いの地域が活かされる十分な検討、納得できる統合を望む。

- ・統合となると、豊岡地区が衰退してしまう。子どもたちを考えるとやむを得ないと考えるが統合後、豊岡小がどうなるのかが心配である。豊岡保育所のようにになってしまうのではないかと心配の声もある。

- ・最終的には、山武市を担っていく子どもにとって何が一番良いのかが肝心である。

(適正規模に関する意見)

- ・子どもたちを考えると学校の児童数は多い方が良いと思う。

(適正配置に関する意見)

- ・豊岡小の校舎は新しいため、学区を再編すれば豊岡小に近い児童は豊岡小に来るのではないかと考える。

(その他の意見)

- ・大平小の保護者はとても協力的であるが、統合することによってこれを再構築するのも難しいと考える。

- ・複式学級になると学力の低下が心配である。地域で学校を支えているという形がすごくでているので残していきたい。豊岡保育所が復活すれば、少し変化がでるのではないかと考える。

- ・小学校区単位で存在している組織が多々あるので、統合するといろいろな部分での影響が考えられる。

- ・新しく住民を増やすことができないか。また地域活性化策はないのか。